

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	長寿課	長寿福祉担当	内線等	2126
----	-------	-----	--------	-----	------

事業コード		事務事業名	敬老金支給事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	高齢者福祉
------------------	-------

事務事業の内容

対象	数え81歳、88歳、100歳以上の高齢者に対して
手段	主として民生・児童委員を通じて敬老金を支給することによって
想定する成果	長寿を祝い、高齢者福祉の増進に寄与する

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
数え81歳	5,000円×421人(市)	5,000円×421人(市)	5,000円×453人(市)
数え88歳	10,000円×227人(県・市)	10,000円×213人(県・市)	10,000円×238人(県・市)
数え100歳	30,000円×10人(県・市)	30,000円×2人(県・市)	30,000円×6人(県・市)
数え100歳以上	30,000円×7人(市)	30,000円×14人(市)	30,000円×14人(市)
計	665人	650人	711人

目標値

成果指標名	支給対象者率
成果指標の説明	支給対象者数 / 高齢者(数え81歳以上)数 × 100

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	-	-	19.9%
	実績	20.0%	18.9%	-
事業費	事業費	5,291,455	4,896,959	5,409,861
	人件費	1,285,800	1,253,700	1,274,550
	(人数)	(0.15)	(0.15)	(0.15)
	合計	6,577,255	6,150,659	6,684,411
財源内訳	国			
	県	14,220	12,900	14,640
	市債			
	その他			
	一般財源	6,563,035	6,137,759	6,669,771

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	超高齢社会を迎え、対象者が急増する状況下で所期の目的は達成していると考えられる。
効率性	3	3	平均寿命が80歳を超えている状況では、対象年齢の引き上げ、支給区分等の検討も必要である。
公共性	6	6	
緊急度	3	3	制度の定着及び達成度から勘案し、縮小もやむを得ない事業と考えられる。
小計	18	18	
市民参加度	3	6	敬老金配付を依頼している民生・児童委員から事業執行に係る意見を集約している。
合計	21	24	
総合評価	C	C	平成11年度まで、80歳以上の高齢者全員に対し、年齢に応じた金品を配付していたが、県は11年度から、市は12年度から支給対象をしぼり込んだ結果、現在は事業の概要のとおりであるが、今後、更に支給年齢・対象等を検討する必要がある。

これまでに実施した改善点

達成度	
効率性	平成12年度に支給対象者の見直しを行った。
公共性	
緊急度	
市民参加度	

今後の改善すべき点

達成度	
効率性	支給金額、支給区分等の見直しが必要。
公共性	
緊急度	
市民参加度	